



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために



2011-2012 年度

国際ロータリー会長 / カルヤン・パネルジー
2690地区ガバナー / 伊藤 文利

会長 / 飯塚 詔夫 副会長 / 黒田 昌弘
幹事 / 堀江 卓男 会計 / 横野 良文

■平田ロータリークラブ 事務局

〒691-0001 島根県出雲市平田町 2280-1 平田商工会議所 2F
TEL: 0853-63-3232 / FAX: 63-5365 / IP: 050-5204-5816
URL: <http://hirata-rotary.jp/> Mail: office@hirata-rotary.jp

9:00 ~ 17:00 (土・日曜・祝祭日 休局)

■例会プログラム

例会日	卓話者	演題
5月10日	モンゴル国 ハンガイ大学 日本語科 エンバヤル先生	「ニッポンとニホンゴ」
5月17日	18:30 ~ ホテルほり江	夜間例会
5月24日	会員 原 泰久	新入会員スピーチ

■出席報告

会員数	出席者数	欠席者数	出席率	前回補正出席率
36	28	8(3)	84.85%	4/19 93.94 % 4/26 97.06 %

■欠席者

園山 / 石原輝 / 来間 / 持田 / 杉原朋(山根 / 牧野 / 杉原邦)

■来訪者

なし

■メイクアップ

5/9 大島卓・河原(大社)

■次回例会受付当番

(5月24日) 原 泰久 / 小村益造 / 大島 治

(5月31日) 清原正幸 / 大島卓爾 / 大谷 孝

■近隣クラブ例会情報 (メイクアップを考えましょう)

(出雲) (松江) 赤文字 例会変更

月	出雲中央	松江南
火	出雲	松江しんじ湖 6/19 6/26(休)
水	大社	松江 6/20 6/27(休)
木		松江東 6/21 6/28(休)
金	出雲南	

■会長挨拶

今年の連休は皆様方どのような過ごし方をされたのでしょうか？ この地方では、幸いにも天災はありませんが、連休最後の日には関東地方では、竜巻の発生やヒョウが降るなどの大変な被害が出ました。この所、何か変な気候が続いております。さて、このクラブの会員の加藤喜久さんが春の叙勲で行政相談功労として、瑞宝双光賞を受賞なさいました。誠にありがとうございます。今後、益々のご活躍をお祈り致します。

今月5日は「こどもの日」五節句の1つ「端午の節句」です。ちなみにこの五節句は1月7日の「人日(じんじつ)の節句」「七草の節句」ともいって、七草粥を食べる風習があります。3月3日の「上巳(じょうし)の節句」「桃の節句」「雛祭り」。7月7日の「七夕(しちせき)の節句」「七夕(たなばた)」「七夕祭り」。9月9日の「重陽(ちようよう)の節句」「菊の節句」のことを言います。この端午の節句は、元は「菖蒲の節句」といって菖蒲の葉草効果によって魔除けをする日です。

今、吹流しや鯉のぼりを5月の空に掲げるのは、鯉は天に昇って竜神に代わると考えられていることから、出世の糸口をつかむ関門を登竜門と言われています。現在「端午の節句」には菖蒲湯に入る慣わしがありますが、これもだんだんと廃れていきそうな感じが致します。

また、今月21日 日本縦断をする金環日食は932年ぶり、日食は21日月曜日の午前6時頃から始まり9時具終わります。通る道は太平洋岸沿いに進むようです。沖縄での日食以来25年ぶり、次は2030年北海道で18年後になります。

■幹事報告

1. 例会変更

○ 松江しんじ湖 RC 6/19(火) 夜間例会

○ 松江 RC 6/20(水) "

ビジター受付 12:00 ~ 12:30 定例会場

2. 休 会

○ 松江しんじ湖 RC 6/26(火) 定款第6条により

○ 松江 RC 6/27(水) "
ビジター受付 12:00 ~ 12:30 定例会場

3. 恒松克己会員ご夫妻、河原治子会員、タイ・バンコクで開催された国際大会に参加され、ブルガリア・台湾・香港のクラブの方々とはバー交換をされましたので本日で紹介いたします。

■スマイル

加藤喜 (この度の春の叙勲に際し、図らずも瑞宝双光章の荣誉に浴することとなりました。これも偏に皆様方の心暖きご支援の賜と深く感謝致します。ありがとうございます。)

横野 (加藤喜久会員の瑞宝双光章受章をお祝い申し上げます。高砂会員にお礼、旅伏山都武自神社例祭「もち」を戴いて。)

大谷 (加藤喜久さんご叙勲おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。本年のご尽力に敬意を表します。)

恒松 (エンバヤル先生を講師に迎えて、ありがとうございます。河原会員と家内とバンコクでの国際ロータリー年次大会に出席しました。4/29 旅伏山登山、高砂様にお世話になりました。)

高砂 (先月29日 旅伏山例大祭には多数の会員の皆様の参加を頂き、当日は好天にめぐまれ元気に登山できました。有難うございました。)

河原 (モンゴルからのお客様 ようこそ。国際ロータリー バンコクでの年次大会に出席して来ました。)

佐々木 (40歳台最後の旅伏山登山を会員の皆さんと一緒に迎えました。高砂会員、ありがとうございます。)

福田 (今月8日で会員の皆様をはじめ多くの方に支えられて開業5年を迎えることが出来ました。今後共ご支援下さいます様、宜しく願い致します。)

釜屋 (司法書士を開業し、ロータリーに入会させて頂き5年となりました。)

■スピーチ・例会行事

「ニッポンとニホンゴ」

レンツェン・ダクワ・エンバヤル様 (モンゴル・ハンガイ大学学術代表者)

恒松先生始め日本の皆様には感謝しています。先進国は語学勉強を余りしない傾向があり、逆にモンゴル始め発展国は、常に学んで向上して生きていくことが何より大切であり、結果語学など熱心に勉強する傾向があるのだそうです。例えば、「郷に入れば郷に従え」の如く、朝青龍や白鵬など異文化習慣に柔軟に順応する力と忍耐強さを持っています。それは人の心と文化を理解することと感じています。

